# 出張報告書

令和2年2月18日

福岡市議会議長 阿部 真之助 様

福岡市議会イポー市友好訪問団

団 長 楠 正信 副団長 今林 ひであき 団 員 津 田 信太郎 IJ 篠原達也 IJ 池田良子 浜 崎 太 郎 中島 まさひろ IJ 事務局 金子佳史 山下孝司 IJ IJ 大 長 真

この度、下記のとおり出張したので、報告します。

記

- 1 出張期間 令和元年12月3日(火)~12月7日(土)
- 2 出張先 マレーシア・イポー市
- 3 用務 福岡市議会イポー市友好訪問 ~イポー市姉妹都市締結30周年~
- 4 用務の経路及び結果 「福岡市議会イポー市友好訪問団出張報告書」のとおり

### 福岡市議会イポー市友好訪問団出張報告書

#### 1 目的

福岡市では、7か国8都市と姉妹友好都市の締結を行っている。市議会では、広州市と釜山広域市との間で議員団の派遣・受入を毎年交互に行う相互交流を行っており、他の姉妹都市とは、平成24年度より、議会が主体的に訪問団を編成・派遣し、議会の視点に立った交流・視察を行うことで、姉妹都市の交流を更に深めるとともに、本市と姉妹都市との交流促進の支援も行い、その成果を本市の施策に活かし、本市の発展に寄与することを目的とした「姉妹都市訪問事業」を実施している。

今年度は、姉妹都市締結30周年を迎えるイポー市に訪問団を派遣し、行政機関及び議会との交流・視察を行い、本市とイポー市との交流促進を支援した。

#### 2 期間

令和元年12月3日(火)~12月7日(土)

#### 3 訪問団メンバー

団 長 楠 正 信 (副議長・公明党福岡市議団)

副団長 今林 ひであき (自由民主党福岡市議団)

団 員 津 田 信太郎 (自由民主党福岡市議団)

# 篠原達也(公明党福岡市議団)

" 池 田 良 子 (福岡市民クラブ)

ル 浜 崎 太 郎 (福岡令和会)

事務局 金子佳史 (議会事務局次長)

# 4 日程

日付	時間	内容	
12月3日 (火)	午前	福岡空港出発	
	午後	マレーシア・クアラルンプール空港着	
	夜	イポー市着	
12月4日 (水)	午前	イポー市内視察〈オールドタウン〉	
	午後	日本庭園でのセレモニー【周年記念行事】〈D. R. シーニバサガム公園内〉 イポー市長主催歓迎昼食会 イポー市内視察〈バンジャランホットスプリングスリトリート〉	
	夜	30 周年記念レセプション【周年記念行事】	
12月5日 (木)	午前	イポー市議会交流	
		ペラ州首相表敬訪問	
	午後	ペラ州議会交流	
		イポー市内視察〈アーバントランスフォーメーションセンター〉	
		イポー市内視察〈MM2H〉	
	夜	イポー市副市長主催歓迎夕食会	
12月6日 (金)	午後	イポー市発	
		マレーシア・クアラルンプール空港発	
12月7日 (土)	午前	福岡空港帰着	

# 5 訪問先等

次ページ以下のとおり

# マレーシア

#### 1 マレーシアおよびその政府構造の概要

東南アジアの中心に位置するマレーシアは、マレー半島とボルネオ島の一部・サバ州、サラワク州から成り立っている。国土面積はマレー半島部分とボルネオ島部分を合わせ、約33万平方キロメートル。日本の面積の9割弱の広さの土地に、日本の16%の人口が住んでいることになる。

国土の約60%が熱帯雨林で覆われている。

人口約 3,000 万人のマレーシアは、マレー系・中国系・インド系、そして多数の部族 に分けられる先住民族で構成される多民族国家である。

### <略史>

15世紀初め マラッカ王国成立

16世紀~17世紀 ポルトガル,オランダ東インド会社によるマラッカ支配

1824年 英蘭協約によりマレー半島及びボルネオ島西北部が英国の勢力範

囲下となる。イギリスによる植民地支配

1942年~1945年 日本軍による占領

1948年 英領マラヤ連邦形成

1957年 マラヤ連邦独立

1963年 マレーシア成立 (シンガポール, サバ, サラワクを加える)

1965 年 シンガポールが分離,独立。

マレーシアは,アブドゥラ第16代国王を元首とする立憲君主国である。議会は二院制。 上院70議席,任期は3年。44名は国王任命,26名は州議会指名である。下院222議席, 任期は5年。直接選挙(小選挙区制)で選出される。

# 2 主な指標

工.0.10.13	·			
面	積	約33万km <sup>2</sup> (日本の約0.9倍)		
		約3,200万人(2017年マレーシア統計局)		
人	口	マレー系(約 69%),中国系(約 23%),インド系(約 7%)(注:		
		マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む)		
人口密度		97 人/ k m² ※日本の約3分の1		
首	都	クアラルンプール		
言	語	マレー語(国語),中国語,タミール語,英語		
通 貨	化	1 リンギット (RM) =25.82円		
	質	※2019年10月11日現在		
The 1-be	- <del></del>	アブドゥラ第 16 代国王		
政体・元	兀目	(2019 年 1 月就任,任期 5 年,統治者会議で互選。)		
		二院制		
議	会	上院:70 議席,任期3年。44名は国王任命,26名は州議会指名。		
		下院:222 議席,任期5年。直接選挙(小選挙区制)		
政	府	首相:マハティール・ビン・モハマッド(2018年5月就任)		
		・主な産業は,製造業(電気機器),農林業(天然ゴム,パーム油,木		
		材)および鉱業(錫,原油,LNG)など。GDP の分野別比率ではサービ		
- 十冊:	<del>文</del>	ス業等 54.7%,製造業等 36.9%,農業等 8.4%(2017 年,WFB)。		
主要	生未	・主な輸出品は,電気製品,パーム油,化学製品,原油・石油製品,LNG,		
		機械・器具製品など、輸入品は、電気製品、製造機器、化学製品、航		
		空機関連などである。		
時差	<u></u>	日本より1時間遅い。日本の午前8時はマレーシアでは午前7時と		
サマー	タイム	なる。サマータイム制度はない。		

# <u>イポー市</u>

# 1 主な指標

位置	ペラ州都 (クアラルンプールから北に 200km)  「市章」
面積	
人口	約71万人 ※マレーシア3番目の都市。中華系が多い。
	民族構成:中国系 46.7%, マレー系 38.2%, インド系 13.8%, その他 1.3%
産業別市内	第1次産業: 1,417 百万 US ドル (13.90%)
総 生 産	第2次産業: 1,849 百万 US ドル (18.39%)
	第3次産業: 6,819 百万 US ドル (67.81%) (2010年 州産業データ)
産 業 別	第 1 次産業: 12.4%
従 事 者 数	第 2 次産業: 27.6%
	第 3 次産業: 60.0% (2009 年マレーシア労働統計)
主要産業又は	土石採取業(石灰岩と花崗岩),製造業(電子機器),農業(ゴムとパーム油)
主要産物	
財 政 規 模	288.373 百万 US ドル (2013 年推定歳入)
姉妹都市等	姉妹都市:福岡市(日本)
	友好都市:温州市(中国),南寧市(中国),メダン市(インドネシア)
その他	「食の街」・・・イポーチキンライス、もやし、ホワイトコーヒーが有名
	「リタイヤメント・シティ」・・・暮らしやすさから、退職後に住みたい街と
	して有名

#### 2 概要

イポー市はマレーシア西海岸の北部に位置するペラ州の州都で、代表的な都市の一つであり、魅力的な観光地でもある。マレーシアの2大都市、ペナンとクアラルンプールの中央に位置し、交通の要衝にあり、物資の集散地として、また、ペラ州の商業・金融・工業・文化の中心地として発展している。

19世紀に錫(すず)鉱業によりマレーシアの主要都市へと発展してきた経緯がある。かつては「錫でできた街」として知られていたが、現在は「石灰岩の景勝地」として有名。石灰岩の丘や鍾乳洞は独特な地質学的特徴をもつ動植物の宝庫であり、科学者や探検家に注目されている。

#### 3 姉妹都市締結

1989 (平成元) 年3月21日

#### 4 姉妹都市締結の経緯

1977 (昭和52)年に「福岡市青年友好の翼」をマレーシアに派遣し交流がスタート。1979 (昭和54)年にはマレーシアからの青年の受け入れを開始し、以降、相互青年交流が行われてきた。

これらの交流を通じ、以前からイポー市より姉妹都市提携の希望が出されており、1989 (平成元)年3月にマレーシア新国王が来福した際に、両市の末永い友好関係を維持することで合意し姉妹都市の提携に至る。

#### 5 姉妹都市締結後の交流

平成元年3月の姉妹都市締結以降,両市間では「青少年交流」や「行政交流」を中心に次のとおり交流事業が実施されてきている。

福岡市姉妹都市委員会が、平成10年から市内の高校生の派遣事業を開始。平成16年からは、これを拡大し隔年での相互派遣が現在まで実施されている。

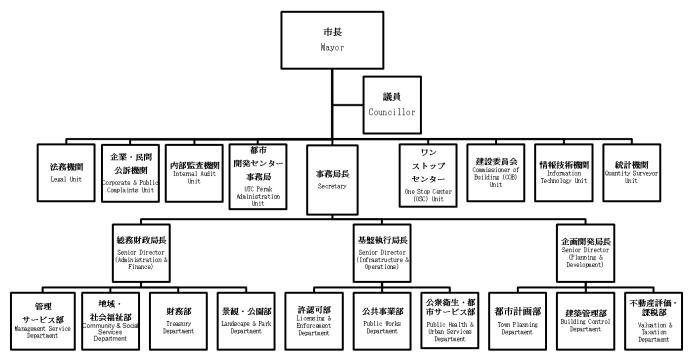
また, 廃棄物埋立場の改善のための講義・実技指導や, イポー市が抱える雨水排水等に関する懸案事項について技術指導等の行政交流(技術交流)も実施。

平成21年には姉妹都市締結20周年を記念し、福岡市長がイポー市を訪問し、イポー市の日本庭園にて植樹や錦鯉の放流等の記念式典が行われるなど、連携強化を確認。

#### 6 イポー市の組織について

イポー市は、首長である市長と、市を形成する議会があり、議会には議員や専門家などで構成される、総務、環境衛生・観光、財務などの委員会が置かれ、基本政策の立案機能を担っている。議会の下には財務部、技術部、計画部などから構成される事務局が置かれており、実務を担っている。

## イポー市の組織図



イポー市 HPより 2019年 10月3日付

# イポー市議会交流

#### 1 イポー市議会との交流

(令和元年12月5日(木))

- (1) 概要
  - ① 場所:イポー市議会議場
- (2) 内容
  - イポー市議会についての説明と意見交換
  - ・福岡市議会についての説明

#### 「説明要旨]

- ○市会議員の選出について、1970年から選挙ではなく選任制となった。市会議員の選任の 提案を議会に提出し、州政府の任命により決定される。
- ○市会議員は、州、国の政策支援、また地方自治体において、州政府と市民との架け橋となり、条例案の決定も行う。
- ○議員の条件として、①マレーシア国籍を有していること②地方自治体に居住していること③年齢は21歳から65歳。心身に問題がなく、政府が定めた健康診断をパスすること④マレー語の読み書きができること⑤犯罪歴がないこと、懲戒処分を受けていないこと⑥国会議員または州議会議員でないこと⑦再選任にはKPI審査\*の点数の90%が必要(※KPI審査:議会出席率、担当地域に何度行ったかなどの市民貢献・活動、市民の困難が解決できた回数等を毎年12月に市長が報告し、州政府が判断する。)
- ○議員報酬はポイント制。固定給2000リンギット(約6万円)に出席日数,携帯使用料, 出張費用,貢献活動等に応じて付加される。議員は他に皆自分のビジネスを持っている。
- 〇議員の任期は法律により3年以下となっている。任期満了後に $, 1 \sim 3$ 年間の再選任される可能性がある。
- ○議員の平均年齢は50歳。再選任の結果,長い人で13年の任期。市議20人中女性議員は3 人。
- ○議員の解雇は、マレーシア国籍を失ったとき、破産宣告を受けたとき、刑事事件で有罪 判決を受けたとき、重病により稼働不能と医者が判断したとき、特段の理由なく3回連 続で会議を欠席したときによる。
- ○議員は重複,混乱を避けるため,報道会見を開くことができない。市長のみが報道会見 を開くことができる。
- ○イポー市を28の地域に分け、1人の議員が1または2か所の代表となり、市民の声を 議会に届ける。
- ○市議会は、州首相が選任する市長、先住民族団結党 (PPBM) 4 人、民主行動党 (DAP) 10 人、国民信任党 (AMANAH) 4 人、NGO 2 人からなる。
- ○委員会は、一般委員会と特別委員会の2つに分けられる。
- ○特別委員会には、全議員委員会、実行委員会、常任委員会がある。
- ○全議員委員会では、一般委員会で決定された議案を承認する。常任委員会には、年金に

関する委員会,職員の選任委員会,職員の昇格委員会,懲罰委員会,陳情委員会があり, 実行委員会には,入札委員会,見積委員会,税金に関する委員会,ワンストップセンタ 一承認委員会がある。

- ○一般委員会には、諮問委員会、議員特別委員会の2つがある。諮問委員会には、市民サービス、交通関係、金融関係などの委員会がある。
- ○懲罰委員会、陳情委員会以外は、すべて市長が議長になる。

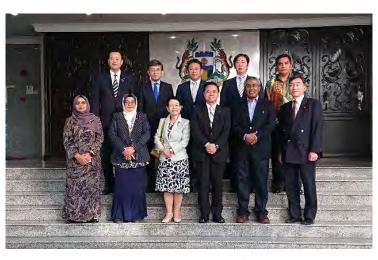


(議場の様子)





(今林議員による福岡市議会の説明)



(議場入り口での記念撮影)

# ペラ州首相表敬訪問・ペラ州議会交流等

## 1 ペラ州首相表敬訪問

(令和元年12月5日(木))

- (1) 概要
  - ① 場所:ペラ州政府庁舎
  - ② 出席者
    - ペラ州ペラ州首相
    - イポー市イポー市長
    - 福岡市議会
- (2) 次第
  - 歓談
  - 記念品交換

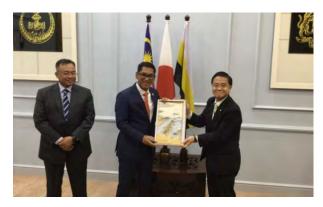


ファイザル首相(左)スアイディ市長(右)

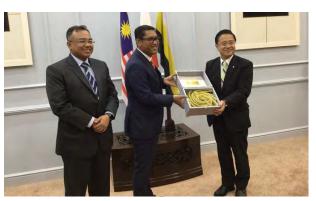




(歓談の様子)



(楠副議長から記念品贈呈)



(ファイザル首相から記念品を受領)

### 2 ペラ州投資マネジメントセンターによる投資の説明

(令和元年12月5日(木))

- (1) 概要
  - ① 場所:ペラ州政府庁舎
  - ② 出席者
    - ペラ州

ペラ州投資マネジメントセンターCEO 他

ペラ州投資マネジメントセンターは、ペラ州の製造およびサービス部門の投資を促進し、投資に関する情報と支援を提供するワンストップセンターとして、2006年1月24日に設立された。主にペラ州政府の主要な投資促進機関として機能し、ペラ州首相に直接報告することができる。

○ 福岡

福岡市議会

#### (2) 次第

・ペラ州の投資に関する説明

#### [説明要旨]

- ○日本からの投資は、1980年~2018年で、171の事業、約2万人の雇用、合計投資額は約52億リンギットである。
- ○2015年~2019年,ペラ州ではトーヨータイヤ,村田製作所,サガミ,ヤマハなどが事業を広げている。
- 〇ペラ州は、クアラルンプールとペナンの真ん中に位置しており、ペナンに比べてコストが安い。また、優れたインフラがあり、また海とも接続しており便利である。
- ○主なインフラ

高速道路―南北 262 km。天然ガスのパイプライン―投資家がいつでも使えるように整備。港―石油の運送、大きい船も入れる。電車―イポーとクアラルンプールが 2 時間 15分。イポー空港―シンガポールまで毎日 100 人乗り飛行機を運行している。



(説明の様子)



(シャリフディンCEOから記念品を受領)

### 3 ペラ州議会交流

(令和元年12月5日(木))

- (1) 概要
  - ① 場所:ペラ州議会議場
  - ② 出席者
    - ペラ州

ペラ州議会議長,副議長 他

福岡福岡市議会

## (2) 次第

- ・ペラ州議会議長あいさつ
- ・福岡市議会の説明
- 記念品交換



(ネゲ・クー・ハム議長によるあいさつ)



(今林議員による福岡市議会の説明)

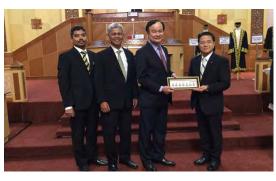


(議場での記念撮影)

※州議会議長:前列左から2番目,州議会副議長:前列左端



(楠副議長から記念品贈呈)



(ネゲ・クー・ハム議長から記念品を受領)

# 姉妹都市締結30周年関連事業

#### 1 日本庭園でのセレモニー

(令和元年12月4日(水)12:00~13:00)

#### (1) 概要

- ① 場所: D. R. シーニバサガム公園内の日本庭園
- ② 主催:イポー市
- ③ 出席者
  - イポー イポー市, イポー市議会 他
  - 福岡市,福岡市議会

## (2) 開催趣旨

- ・日本庭園は D. R. シーニバサガム公園内の一角にあり、イポー市と福岡市の姉妹都市締結記念事業として、福岡市が設計と技術指導を担当。1990年から基本設計に入り、1995年に完成、同年6月に開園した。
- ・今回姉妹都市締結30周年に伴い庭園の再整備を行い、イポー市職員独自で持続可能な 庭園維持管理が行えるよう、福岡市から維持管理マニュアルを贈呈。

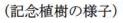
# (3) 次第

- ・テープカット
- ・ 園名碑の除幕式
- 30 周年記念植樹
- 樹名板へのサイン
- ・庭園の維持管理マニュアルの贈呈(福岡市→イポー市)
- ・日本庭園のフォトブックの贈呈 (イポー市→福岡市)





※庭園名:怡福園(怡保,福岡から1字ずつ)







### 2 記念レセプション

(令和元年12月4日(水)20:00~22:00)

#### (1) 概要

- ① 場所:キンタリバーフロントホテル
- ② 主催:イポー市
- ③ 出席者
  - イポー・ペラペラ州首相,ペラ州議会,イポー市,イポー市議会 他
  - 福岡市、福岡市議会
  - その他 在ペナン日本国総領事

#### (2) 次第

- ・Gema Warisan Budayaによるオープニングダンス
- イポー市長あいさつ
- ・福岡市長あいさつ
- ・鹿屋在ペナン日本国総領事あいさつ
- ペラ州首相あいさつ
- 歓談
- ・ジャパンマーベラスによる太鼓パフォーマンス
- ・Gema Warisan Budayaによるパフォーマンス
- ・姉妹都市30周年記念ロゴ制作者の表彰
- ・記念品交換 (ペラ州⇔福岡市)
- ・記念品交換(イポー市⇔福岡市)
- ・Gema Warisan Budayaによるラストパフォーマンス



(福岡市長のあいさつ)

姉妹都市締結をしたころのイポー市 について記した, 浜崎和久 元福岡市 議会議員の著書「サヤスカイポ (イポ 大好き)」の紹介があった。



(ペラ州首相のあいさつ)



(イポー市長のあいさつ)

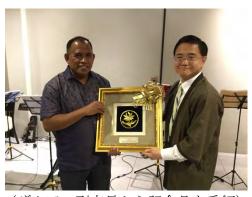
## 3 副市長主催歓迎夕食会

(令和元年12月5日(木)20:00~21:00)

- (1) 概要
  - ① 場所:パキーザレストラン
  - ② 主催:イポー市(イポー市副市長)
  - ③ 出席者
    - イポーイポー市副市長 他
    - 福岡市議会
- (2) 次第
  - ・イポー市副市長あいさつ
  - ・楠副議長あいさつ
  - 歓談
  - 記念品交換



(楠副議長のあいさつ)



(ザクアン副市長から記念品を受領)



(ザクアン副市長のあいさつ)



(日本文化紹介(点茶))



(楠副議長から記念品贈呈)

# イポー市内視察<オールドタウン>

(令和元年12月4日(水))

### 〇 概要

イポーの街は中心を南北に流れるキンタ川で東西に二分されており, 西側が旧市街(オ ールドタウン)で東側が新市街。オールドタウンには、イポー駅をはじめ英国統治時代の コロニアル建築物が数多く残っており(約30か所),イポー市はヘリテージツーリズムを 推進している。



(インフォメーションセンター)



(説明を受ける様子)



インフォメーションセンター内には、これまで福岡市 が贈呈した記念品の一部が展示されていた。



(お茶の博物館)



(有名な壁画の一つ)



(イポー駅)



(タウンホール)

# イポー市内視察<バンジャランホットスプリングスリトリート>

(令和元年12月4日(水))

### 〇 概要

石灰岩の丘陵を背にし、地熱温泉を利用したプールや鍾乳洞窟内のレストラン、スチーム洞窟など、魅力あふれるリゾート地。















# イポー市内視察<アーバントランスフォーメーションセンター(UTC)>

(令和元年12月5日(木)

## 〇 概要

- ・連邦政府の機関および州政府機関のほとんどすべてが同じ建物内に集結したサービスセンター。以前はデパートだった建物をリノベーションし、2013年にオープン。
- ・医療,教育・研修,金融,経済ビジネス,職安,入国管理,警察,運転免許発行など, 行政機関,民間機関含めて34機関を提供している。



(UTC外観)





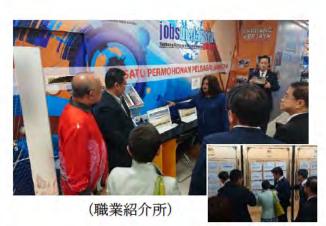
(概要説明を受ける様子)



(運転免許センター)



(警察)





(入国管理局)

# イポー市内視察<マレーシア・マイ・セカンド・ホーム(MM2H)>

(令和元年12月5日(木))

## 〇 概要

- ・「マレーシア・マイ・セカンド・ホーム (MM2H)」とはマレーシアにおける観光産業と海外からの投資及び滞在を促進する目的で、2002年にマレーシア政府によって発案された長期滞在ビザ取得プログラム。世界で認められているどの国の国民でもリタイアしてマレーシアに移住することができる。10年間の数次ビザが発行されパスポートの期限内であれば更新も可能。
- ・今回視察したメルバレーリゾートは、MM2Hプログラムを利用する日本人が多く滞在する施設である。



(説明を受ける様子)



(メルバレーリゾートに滞在する日本人と懇談)









#### 【所見】

#### 1 イポー市議会交流について

- ・議場に入ってすぐ目に入ったものが大小のモニター画面だったが、ペーパーレスを進めるために導入されており、環境対策はどこの国も進んでいるようだ。
- ・市議会議員は州政府が選任する形ではあるが、市民の声にどれだけ寄り添ったかなど、 KPI審査という厳しい審査にさらされることに深い興味を持った。
- ・そもそもの議員の選出方法が異なっているので職務,役割等が若干違うが,市民の代表と して広域的に活動されていることがわかった。
- ・議員報酬がポイント制で,貢献活動等に応じて付加されるなど,議員活動が評価されることは,議会の活性化につながるのではと思った。
- ・市議 20 人中女性議員は3人で参画率 15%である。福岡市議会と同程度の女性参画率だが 国際的には遅れている。

#### 2 姉妹都市締結 30 周年記念行事について

- ①日本庭園でのセレモニー
- ・スアイディ市長をはじめ、イポー市の皆さんが、バスを降りた訪問団を大歓迎してくださり、十分な準備をされてのおもてなしに感動した。
- ・美しく整備された庭園がイポー市との友好のシンボルであることを再認識した。
- ・開園以来イポー市が管理を行い、30 周年を機にリニューアルされた庭園はとても綺麗であった。
- ・庭園設立の説明看板等もあり、なぜ日本庭園があるのかなどの主旨は来訪者に伝わるか と思う。
- ・日頃の来訪者数、イポー市内での認知度などは気になる。
- ・日本庭園では、写真が撮れるポイント作り、パワースポットとしての公園作りや、イベントなど行えるユニークベニューとしての活用は今後の課題。
- ・庭園の竹を組んだ垣根は、福岡市の友泉亭を模写したものであると聞き、今後も庭園整備 の惜しみない協力支援を続けたいと強く感じた。
- ・セレモニーに合わせ、素晴らしくきれいに整備されていたが、福岡市が贈呈した整備マニュアルをもとに、今後も庭園の手入れを続けてほしいと思った。

#### ②記念レセプション

- ・イポー市とは髙島市長との個人的な友好のつながりも感じさせ、アルコール飲料がないなど、お国柄の違いもあったが、短い時間の中で濃縮された歓迎宴であった。
- ・様々なアトラクションをはじめ食事等も素晴らしく、イポー市のおもてなしの意気込み を感じられたレセプションであった。参加者との交流が無かったことは少し残念であっ た。
- ・盛大なレセプションであり、今後の両市の関係がさらに深まるものと感じた。

- ・ファイザル首相が議会訪問団のテーブルにも来られ、フランクに肩を組み写真撮影に応 じられていたのが印象的だった。
- ・髙島市長より、浜崎和久元議員のイポー市に関する著書が紹介されるなど、過去の両市の 関係の深さも伝えることができた。
- ・スアイディ市長のあいさつは、日本愛にあふれる内容で大変感動した。

### 3 ペラ州首相表敬訪問・ペラ州議会交流等について

#### ①ペラ州首相表敬訪問

- ・厳しい警護の物々しい雰囲気の中,一番緊張した場面であったが,ファイザル首相はレセ プションの時同様,フランクに話しかけてくださり,福岡市議会との信頼関係も築けたの では、と強く感じた。
- ・日本への期待度の大きさが伝わる首相のメッセージだった。こどもたちとの交流や「福岡 100」の取組を通した福祉の交流は、研修や人材交流を通してやれることが多くあると感じた。
- ・ファイザル首相の対応に感動をした。APCC の交流はお互いに高校生、大学生など、より 深い交流ができる年齢が良いと言われていた。人的交流こそ姉妹都市交流のシンボルで あると思った。

#### ②ペラ州議会交流

- ・議場は作りも広さも、イポー市より重厚さを感じた。
- ・制度としては、イポー市議会と同様であるが、立憲君主制の国で民意がどこまで反映されるのかと感じた。

#### 4 市内視察について

#### ①オールドタウン

- ・旧市街地として、駅をはじめ英国統治時代のコロニアル建築物が多く残っており歴史を 感じさせられた。
- ・町自体は大きくないのでコンパクトであると感じた。想像と違って町がきれいであった。 また、いたるところにアート、モニュメントがあり、歩き回って楽しいまちづくりになっ ている。

# ②バンジャランホットスプリングスリトリート

- ・温泉や自然を上手に利用し、今後のイポー市の成長を見据えた投資と思うが、リゾート施設として確立している。
- ・地熱温泉,プール,洞窟スチーム,マッサージなど,日頃の疲れを取り,活力を生み出してくれるような施設であり、一度利用してみたいと思った。
- ・石灰岩の丘陵はさすがにイポー市が世界に誇るだけのことはあると思った。
- ③アーバントランスフォーメーションセンター (UTC)
- ・職安や警察, 免許証発行センター等, 公的な機関が一か所に集まっており, 市民にはとて も便利であると感じた。

・日本の指定管理者制度を説明すると高い関心があると言われ、詳しく調べてみるとのことであった。

#### ④MM2H (視察先:メルバレーリゾート)

- ・メンバーは2300人,86軒あり日本人が多く居住する施設とのことで、現在滞在中の日本 人ご夫妻にもご対応いただいた。10年の滞在許可がもらえるが申請するには財政条件が あり、日本人にも大変好評のようで、冬季に滞在して毎日ゴルフを楽しんでいるとのこと であった。退職後、ゴルフ好きの人には魅力的なリゾート地かも知れない。
- ・日本ではあまり例のない, リタイアされた人々が多く居住する場所であった。費用が少々 高額であり, 現地の人より, 外国人かクアラルンプールの人が対象であるようだ。
- ・温暖な気候と自然豊かなロケーションを活かし、退職後の第2の人生の場としてゴルフ 場と居住エリアの管理運営をされていた。様々な話を聞いたが施設利用費は高く、利用者 層は限られている。中国資本であり、中国本土の富裕層退職者の利用も多いのであろう。

#### 5 その他、訪問事業全体を通して

- ・イポー市の職員の方々が、朝早くから夜遅くまで、議会訪問団のお世話をしてくださり、 今回一番の友好を深める因となった。
- ・イポー市議会、ペラ州議会の仕組みや基本的な議会運営などについて話を聞くことができ、イポー市及びペラ州と福岡市の相互理解と今後の交流に向け、大変有意義な時間となった。
- ・市内各地にて30周年記念の横断幕,のぼり,髙島市長のポスター,そして日本国旗をたくさん見ることができた。イポー市民も福岡市の認知度はそれほど高くはなかったかと思うが,今回の市を挙げての取り組みにより,相互理解や交流の歴史などについて知りうる良い機会となったのは間違いない。
- ・これは本市でも言えることであるが、イポー市だけでなく姉妹都市の存在、歴史は福岡市 民として知るべきだと考える。行政、議会は無論、今後は更に民間交流を深めるべきであ り、行政と議会はその懸け橋となるべき。